

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動・音楽特化型児童デイサービス ぼぶらの樹 生野		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 22日		R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 22日		R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全身運動に力を入れている。	できないことが知らないうちでできるようになっていたと思えるように、楽しく取り組める活動を考えている。	引き続き行っていく。
2	メリハリをつける。	約束唱和の中にある「やるときはやる、遊ぶときは遊ぶ。」を児童だけでなくスタッフも意識し、遊ぶときは一緒に全力で遊び、活動時やイベントごとの際にはふざけず集中して取り組めるように促している。	切り替えが難しい児童に関しては、できることから少しずつ成長できるように習慣化を目指していく。
3	ADLの向上	本当にできないことなのか、ただスタッフに甘えているだけなのかの見極めを行い、ただ甘えている場合はすぐに支援をしてあげるのではなく自分の力で挑戦できるように促している。	スタッフの効率重視になってしまわないように、心に余裕を持ち、児童の力を最大限に発揮できるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育の時間が短くなってしまっている。	集団活動に力を入れているため。	活動の前後で行っていけるよう時間配分を考えていく。
2	事業所が古くなってきているため、所々経年劣化がみられる。	長年にわたり同じ建物を事業所として使用しているため。	少しずつリフォームを行っております。
3			